



もくす

第167号

中之条自治会

就任のご挨拶

平成三十一年度自治会長
中澤 照夫



平成三十一年も早や三月となり、春の息吹が感じられる時季となりました。

元号が変わる平成最後の年、それぞれ特別の思いを込めてスタートをきった皆様が多いことと思います。

この大きな節目の年に自治会長の大役を申しつかりまして、身が引き締まる思いです。

もとよりその器ではありません。不安の中でお受けしたところですが、幸いにも、副自治会長に高橋義幸氏、会計に荻原宏樹氏、総務部長に須崎一弘氏、公民館長に竹田貴一氏に就任のご快諾を賜り、一緒に

自治会運営を担っていただくこととなりました。四名の方は、明敏で経験豊か、大変有り難く心強い限りです。そして、協議員として各部から選出された志の高い正副ブロック長各位、小坂井市議に引き続き特別協議員の職に就いていただくことで、総勢二十二名で自治会活動に取り組んでまいります。どうぞ中之条自治会員の皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。さて、五月に予定される改元を控え、平成時代を振り返る新聞記事が多く目に付きましました。「平成は、バブルの絶頂と転落に始まり、政治・経済の變化が激しい時代、少子・高齢化、人口減少という試練の時代、そして何よりも大きな災害に幾度となく見舞われた時代、私たちの日常生活の安全面が大きく揺らいだ不安の時

代」等々です。私たちの住む中之条地域も平成時代を経て大きく変わりました。かつての農村地域から、社会基盤が整備され、上田市で有数の住居地域となりました。「昭和の時代も遠くなる」思いです。時代の大きな区切りを迎えた今日、一昨年に「中之条誌」が刊行されたことは誠に意義深く、後世へ遺す財産となりました。是非「一家に一冊」をご用意の上、読み継がれて欲しいと念願するものです。当地域における世帯の増加、都市化の進展は、今後も続くことが見込まれます。少子・高齢化、人口減少が進む中、中之条地域は、若い世代が多く活気あふれる自治会であり、希望が膨らむ地域となっております。他方で、地域の課題は多々ありますが、中之条に暮らす私たちが笑顔で、日々楽しく過ごせる「安全・安心な地域づくり」を進めることが大切と考えます。これを基本に、取り組んでまいりたいと思っております。結びとしまして、昨年度の自治会運営に多大なご尽力をされた中澤憲二自治会長はじめ役員、協議員の皆様に心より敬意と感謝を表しまして、ご挨拶いたします。

退任のご挨拶

平成三十年度自治会長
中澤 憲二

今年も、まだまだ厳しい寒さが続いておりますが、梅の芽吹きも聞かれる季節となりました。自治会員の皆様におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。さて、昨年は自治会長の大

役を仰せつかりましたが、微力ゆえに不安な毎日でありました。総会で決議された念仏堂の解体を実施しましたが、本当に壊してしまつていいのだろうか、解体後はどうすればいいのだろうかと不安でした。中之条誌は申請から七年の歳月が流れ、市からの最終補助金も入金となり、ここで一旦金銭面と在庫冊数を締切つて一般会計の立替金を返金致しました。引き続き販売努力をお願いいたします。

中之条自治会運営の中で、四大行事があります。上田わっしょい、ふるさと夏祭り、敬老祝賀会、城南公民館運動会。わっしょいは雨の為当日に中止となり残念でありました。運動会はW優勝の栄冠を勝ち取ってくれました。その他の行事につきましては、自治会員の関係者が一丸となり

成功させていただきました。長年先輩の皆様が脈々と築いてこられた伝統と中之条の自治会員の皆様が親睦を深める絶好のチャンスと思っております。中之条行事の中に一つ以上どんな形であれ関わってほしいものです。平成三十年度、中之条に加入された方が四十四世帯おられます。不安な気持ちで来られると思しますので声を掛け合ひましょう。今年も大きな災害が北海道又、西日本にありました。土砂に流されてしまった我家を見て涙する初老の方、上田地域は幸いにして災害がなく、ホッとしておりますが、備えましょう！平成三十年を振り返って、副自治会長、会計、総務部長には、ご自身の仕事がある中で立派に仕事をしていたいただき協議員の皆様、公民館運営委員の皆様、ふれあい協議会の皆様ご尽力をいただき本当にありがとうございます。平成三十一年は元号が変わり、消費税が上がります。統一地方選、参議院選があります。変化の年でしょうか！最後となりますが自治会員の皆様には大変お世話になりました。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。退任のご挨拶いたします。

平成三十一年度 新年総会報告

副自治会長 高橋 義幸

平成三十一年一月十三日午後一時より新年定期総会が中之条公民館において開催されました。

冒頭、司会者の土屋副自治会長より総会出席者と委任状の総数が過半数に達し、総会が成立した旨の報告がありました。

中澤憲二自治会長より、平成三十年度実績報告があり、主要旨は次の通りです。

一、念仏堂は、前年度総会の決議に基づき、仏像七体を芳泉寺様に依頼し解体しました。今後の方針は、委員会等設立の上検討をお願いしたい。

一、公民館大広間・貴賓室の畳の表替えを実施しました。一、中之条誌については、市からの補助金も全額入金となった。今後、四百五十余の在庫管理の徹底をお願い。

一、区民からの行政への要望箇所は十六箇所あり、十一月関係者で全て現地確認を実施しました。

南小交差点から北側市道のグリーンベルトは、今年度実施されました。

一、防犯灯については、三基設置となりました。

一、公民館トイレのウォッシュレット設置は、新年度で対応願いたい。

一、独居高齢者や母(父)子家庭の自治会費について、審議委員会で議論検討を願いたい。

今後もし引き続き自治会員が安全・安心で暮らせるよう皆で協力いたしましょう。

会計報告

工藤 真会計より、一般会計・特別会計・文化財保存基金会計・上田わっしょい会計報告

西澤貴志公民館会計より、公民館会計収支報告、

田中敏男墓地緑地委員会会計より、墓地緑地収支報告、

塚田吉和監査委員より、いずれの会計も適正に処理されていた旨の監査報告あり、承認されました。

新役員の紹介

中澤憲二自治会長退任の挨拶
中澤照夫自治会長就任の挨拶
議長・書記・議事録署名人を
選出し議事に入りました。

議長 土屋 恵嗣氏
書記 小林 亮介氏
議事録署名人 飯嶋 昭博氏
北澤 勇太氏

●第一号議案(平成三十一年度収支予算案について)

萩原宏樹会計より、公民館トイレの改修等の提案説明。事務費・営繕費の詳細について、質疑応答承認されました。

●第二号議案(平成三十一年度会計監査委員の選任について)

平田敬一氏、岡田基幸氏が推薦され承認されました。

●第三号議案(念仏堂解体跡地活用の審議委員会について)

審議委員会設立の提案説明。審議委員選出方法の質疑応答後承認されました。

引き続き、恒例の新年祝賀会が盛大に行われました。

最後に、一年間自治会運営にご苦労頂きました役員の皆様に感謝申し上げ、総会の報告といたします。



総会風景



協議員

市政報告

市議会議員 小坂井 一郎

遅くなりましたが、昨年3月に行なわれた上田市議会議員選挙で、三期目の当選をさせていただき、ありがとうございます。今は、最大党派の新生会に所属し、中堅議員として新人議員のアドバイスをしています。市政では母袋新一市長が勇退され、土屋陽一新市長が誕生しました。市政運営に、新風が吹く事を期待するとともに、自分もその一翼を担いたいと思います。

今の市政の重要課題と言えば、やはり統合ゴミ処理施設ではと思います。現在は、カインズホーム南側のし尿処理施設「清浄園」を壊して建設する計画ですが、地元反対運動があります。そもそも、合併前の上田地域広域連合(上田・東部・丸子・武石・長門・和田・真田・青木)で、建設地は東部町本海野地籍に決まっています。その後、旧丸子町で造成した北御牧村境の神之倉工業団地に空地があり、変更されました。しかし、隣接地に北御牧村の別荘地があり、大反対された事で迷走が始まりました。建設地を一般公募した所、諏訪部・秋和地籍から応募があり、公共下水道の普及で処理量が激減した清浄園を中心としたエリアに建設する事に決定し、

現在に至っています。今後、さらに地元自治会との協議が進められる事と思います。

また、現市庁舎の老朽化(耐震不適合)による新築工事の受注企業が決まりました。

清水建設(株)と地元の千曲建設工業(株)・(株)栗木組3社のJVに決まりました。建設費は60億円余ですが、折しもラグビーW杯・東京オリンピックと重なり、資材・人件費・技術者不足が重なり、前途多難が予想されます。南庁舎を残し、現庁舎と西庁舎を解体して建設するので、市民の皆様には多大なご不便をお掛けしますが、ご協力をお願い致します。昨年のこの欄に、有給休暇について書きました。今、国会で「働き方改革法案」の中で、外国人技能実習制度が平成28年11月に施工・公布されました。リーマンショックの折、解雇された外国籍市民が年越しが出来なくなり多文化共生推進協議会が中心となり、市民から古米・野菜・缶詰・保存のきく食材等を寄付して欲しいとの新聞記事があり、協力しました。その時の縁で、川上村から規格外のレタス・白菜を販売しています。最初は中国人研修生・次はベトナム人、最近ではミャンマー人研修生に変わりました。賃金だけでなく、相手国の文化も認めて上手に付き合う事が必要ですよ。

生活環境部より

部長 土屋 貴夫

今年度、生活環境部長を仰せつかりました土屋と申します。高齢ではありませんが、皆様方のご理解とご協力をいただき、より明るい清潔な街づくりのために一年間頑張っております。今年も春の環境整備を四月に実施致します。自治会員全員参加の作業となっておりますので、お忙しいとは存じますが、ご協力をお願いいたします。

毎日出るゴミ(可燃・不燃・プラスチック等)は分別方法も複雑ですが、今一度パンフレットをご確認頂き、集積所へお出しくださるようお願い申し上げます。

また、「もったいない」を心がけ、食品ロスの削減にもご協力をお願いいたします。ゴミの集積所は皆様が利用する公共の場所です。

決められた袋でルールを守り、マナー違反ゴミを出さないよう心がけ、清潔に使用しましょう。

上田市では3つの取り組み(削減、再使用、再利用)を推進しています。

今年も資源ゴミの回収、春秋2回の環境美化清掃、ゴミゼロ運動等を計画していますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

土木部より

部長 興津 佑亮

本年度、土木部長を仰せつかりました興津と申します。各ブロックで選出されました土木部員様と共に力を尽くして参りたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

今年も春の環境整備を四月に実施致します。自治会員全員参加の作業となっておりますので、お忙しいとは存じますが、ご協力をお願いいたします。

作業内容は、道路の土壌及び側溝水路の汚泥の除去作業とゴミ拾いですが、土壌と汚泥処理に付きましては、昨年と同じ指定された集積場所をお願いいたします。作業には一輪車が必要になるかと思いますが、お持ちの方はお貸し願いたいと思います。ゴミにつきましては、不燃ゴミ・廃プラスチック・可燃ゴミに、各ブロック毎に分別して、精穀所南側に搬入して下さい。より美しい中之条となりますよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

本年度の児童公園の草刈りは、各団体にもご協力を願います。五月から九月まで毎月行うことを予定しております。一年間土木部員一同精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

安全部より

部長 小西 順子

平成三十一年度の安全部長を仰せつかりました第六ブロックの小西と申します。宜しくお願いいたします。

中之条自治会の皆様の交通安全のお手伝いが出来る様、安全部員の方々のお力を借りながら部の活動を行っていきたくと思っております。(安全部の皆様、ご指導・ご協力宜しくお願いいたします)

ここで安全部の活動について紹介させて頂きます。先ず地域住民と一般の方々交通安全を確保する一助として、春にカーブミラーの清掃作業を行います。次に、安全協会城下支会の活動として、春・夏・秋・冬・年末の交通安全運動期間中に街頭指導を行います。

そして、毎年なのですが、七月には車両協力費の納付のお願いをする予定です。この車両協力費につきましては、安全部員や班長が皆様のご家庭に伺い、お願いをすることになります。その際には、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

最後に、この一年、事故や怪我の無い年になる事を願っております。

防犯部より

部長 佐藤 成希

今年度、防犯部長を仰せつかりました第二ブロックの佐藤と申します。地域の安心、安全の為に市生活環境課の指導の下、一年間活動をしていきたいと思っております。

各ブロックから選出された防犯指導委員の皆様、お忙しいとは存じますが、ご協力をお願いいたします。

中之条自治会にお住まいの皆様が「安心・安全」に過ごせます様、委員の皆様、自治会員の皆様方、ご指導、ご協力よろしくお願いいたします。

「年間行事予定」

*四月から十二月まで月二回 防犯指導員による地区内防犯パトロールの実施

四月 春の地域安全運動の実施

五月～十月頃

上田駅前パトロールの実施

六月 防犯指導員研修会参加

七月 夏の地域安全運動の実施

十月 全国地域安全運動の実施

十二月 年末特別警戒活動の実施

第八分団より

班長 中沢 悟朗

我々第六分団は、予防広報、火災想定訓練、救急救命講座など、地域防災の担い手として様々な活動に尽力しています。一定の節度を保ちながらも、アットホームな雰囲気である繋がる団員たちは、希薄になつたと言われて久しい地域コミュニティの、貴重な担い手とも言えるでしょう。

こうした団員たちが上田市にくまなく存在し、各々の管轄地域を守るため、昼夜を問わず尽力しています。

残念ながら、昨年末から今年初めにかけて、上田市では火災が連続して起こりました。うち何件かは深夜に発災したのですが、午前4時に現場へ駆け付けたとき、先着していたポンプ車の赤色灯が鮮やかに輝いていました。その力強さ、頼もしさに感動し、自らもその一員なのだ、改めて身の引き締まる思いを抱きました。

今後とも消防団の活動に、暖かいご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

農業協議会より

会長 田中 智志

去る一月二十七日、平成三十一年度農業協議会総会が開催されました。

例年同様、滞りなく議事は進行致しましたが、会員の減少に伴う一般会計予算額の減少の補填の為、特別会計の定期預金三口より一口解約し、一般会計へ約百万円の繰り入れを提案し、承認頂きました。又、協議会所有の農業機械につきましても、田植機が平成二十二年から、大豆スレッシャーが平成二十四年から使用されていなかったので、機械の処分を提案し、承認されるとともに、処分方法につきましても、執行部一任で承認頂きました。

農地が次々と住宅になっていく昨今、以前から漠然と抱えていた「周囲を住宅に囲まれて、やりたくても農業が出来なくなったら、どうしたらいいんだらう…」という不安が徐々に現実味を帯びてきた今日この頃……。残された時間は、思ったより少ないのかも知れませんね。

営農推進委員会より

委員長 西沢 信義

昭和四十五年に国の減反政策が始まり、その補助金の受け皿として昭和五十六年に減反転作推進委員会が発足し平成四年営農推進委員会と改称しました。しかし平成二十九年国の政策見直しにより廃止されましたが、県の農業政策として継続されることとなり、今日に至っています。

現在の中の条は半世紀で大きく変わりました。多くの農地が宅地化され世帯数も三百四十戸程度だったものが現在は千戸を優に超える数となりました。農家組合員数は七十戸余りと激減し、高齢化の波も押し寄せてきています。農事関連の役員の担い手も限られ、毎年何かしらの役員をされる方がほとんどです。各会の財源も枯渇状況です。

今年の新年総会で、農業協議会と当委員会の役員を兼務でお努めいただけないかと提案させていただきました。了承をいただきましたので通常の職務とは別に委員会をつくり検討していきます。次の総会で賛同いただければその先に進んでいきます。委員会の役割も変わっていきます。よろしくご指導ください。

精穀所組合より

組合長 藤松 太一

三十一年度の精穀所の総会が一月二十七日中之条公民館で開催され、昨年度の事蹟、会計報告と新年度役員、事業計画や予算が承認されました。同時に中之条の精穀所閉鎖のカウンタダウンが始まりました。既にご承知のことと存じますが、来年度をもちまして中之条精穀所の営業を終了します。今年度を含め二年間は従来どおりの営業を行います。それと同時に精穀所審議委員会を中心にして具体的な終了の工程を検討したいと思えます。

振り返れば米作農家や組合員の減少、田を含めた農地の宅地への転用が年とともに急激に増加し、今では上田市内一の人口増加地域となっております。大きな時代の流れを感じます。

最後に、今年度も例年通り八月までは第二、四土曜日稼働日となります。九月以降についてもほぼ同じ予定を考えております。量の多少に関わりなく利用頂きますようお願い申し上げます。

山林組合総会報告

山林組合長 田中 忠男

三十一年度山林組合第四十九回総会が一月二十日十三時より十三時五十分まで組合員百七名中、三十八名の出席、委任状提出者三十七名の下、公民館大広間で開催されました。

主要事項としては、大沢山分収林に於いて、平成二十九年十月二十二日に来襲した台風二十一号による風倒木被害個所発生に伴う今後の取扱いについて、来年度以降、諸手続きが終了次第、保安林の林地規制面積である十ha以内の伐採を開始し、契約面積の九十一・三二haの全域伐採をする事、再造林契約は締結しない事を決議した事、総収入百十八万八千五百十二円、総支出二十二万五千六百十三円、差引残高九十六万六千九百四十九円の会計報告が有り、平成三十一年度予算が百十三万六千四百五十九円で執行する事、三十一年度山林作業は無事、山林作業手当については従前通り大沢山・硯沢山七千円、紅平山六千円、欠勤料は五千円とする事、退会申出者が三名有り退会慰労金を従前通り三千円をお支払いする事、組合費についても従前通り千五百円とする事等が決定され総会を終了しました。

中之条の世帯数と人口

日本の人口は減少局面を迎えています。上田市のホームページに掲載されています。統計・データによると、中之条の世帯数・人口は増加傾向にあります。特に平成二十三年以降が顕著です。世帯数、人口ともに市内三番目の多さであり、武石地域(旧武石村)を超える大所帯となっております。また、生産年齢層が最も多く、高齢化率も市内ではトップクラスで低い状況となっております。

中之条自治会の区域の世帯数・人口

	H30.2.1	H31.2.1	増加数
世帯数	1,433	1,515	82
人口	3,480	3,620	140

ブロック別自治会加入世帯 (平成31.2.9現在)

ブロック	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	合計
世帯数	110	145	150	82	176	177	120	138	1,098

平成三十一年度 役員紹介 (敬称略)

四役

自治会長 中澤 照夫
 副自治会長 高橋 義幸
 会計 荻原 宏樹
 総務部長 須崎 一弘
 協議員 ブロック長

第一 横林 浩之
 第二 尾崎 政司
 第三 柴田 和彦
 第四 小林 亮介
 第五 松矢 幸雄
 第六 飯嶋 昭博
 第七 北澤 勇太
 第八 金野 史華
 協議員 副ブロック長

第一 土屋 公彦
 第二 佐藤 成希
 第三 中沢 守人
 第四 竹田 透
 第五 田中 正一
 第六 小西 順子
 第七 土屋 貴夫
 第八 興津 佑亮
 特別協議員
 公民館長 竹田 貴一
 市議会議員 小坂井二郎
 生活環境部
 部長 土屋 貴夫
 第一 小林 友子
 第二 荻原 宏樹

土木部

部長 興津 佑亮
 第一 石坂 信彦
 第二 金森 徳夫
 第三 中村 袈婆雄
 第四 増田 明美
 第五 藤 一之
 第六 田中 栄一
 第七 森杉 茂
 第八 西澤 清

安全部

部長 小西 順子
 第一 堀内 信夫
 第二 加納 大介
 第三 北沢 朝海
 第四 神津 賢人
 第五 松浦 舞
 第六 村山 直樹
 第七 山田 兎美
 第八 山岸 進

第九 須崎 梨沙
 第十 石崎 広志
 第十一 吉原 静枝
 第十二 田中 芳典
 第十三 田中 公恵
 第十四 竹内 宏一
 第十五 伊藤 恭子

防犯部

部長 佐藤 成希
 第一 深澤 信也
 第二 横尾 泰彦
 第三 西澤 健司
 第四 伊藤 義尚
 第五 中嶋 ひろみ
 第六 守 清志
 第七 大島 仁市
 第八 下條 勝

自治会費審議委員

第一 横林 浩之
 第二 塩寄 泰
 第三 飯島 幸子
 第四 小林 亮介
 第五 岡村 学
 第六 齊藤 圭司
 第七 中山 雅史
 第八 滝澤 安夫

健康推進委員

第一 麻沼 孝子
 第二 田中 映子
 第三 西澤 富美
 第四 松本 美寿子
 第五 須崎 美代
 第六 小澤 宏次
 第七 市川 千恵子
 第八 藤沢 清司

民生児童委員

会長 田中 康子
 委員 山岸 紀子
 西澤 初子
 吉原 静枝
 岡村 さつき

少年補導委員 竹内 攻一
 青少年健全育成会 井澤 信子
 会長 田中 康子

福祉推進委員 田中 康子
 人権同和教育推進委員 吉原 弘雅

防火管理者 西沢 信義
 消防委員 中澤 憲二
 中澤 照夫

墓地緑地管理委員会 田中 敏男
 委員 滝澤 安夫

農業協議会 田中 智志
 会長 田中 利典
 副会長 西澤 健司

機械係 田中 芳典
 育苗係 高橋 義幸
 山岸 静雄

宮農推進委員会 西沢 信義
 委員長 田中 利明
 副委員長 桑原 秀明

六ヶ村堰管理組合 西沢 信義
 理事 田中 智志
 水門係 田中 信義

二ヶ村堰管理組合 中澤 伸夫
 組合長 中谷 莊司
 監事 中谷 莊司

精穀所組合 藤松 太一
 組合長 五十里 明義
 副組合長 田中 裕
 委員 六川 百代

委員 齊藤 嘉市
 中沢 茂
 田中 智志
 土屋 恵嗣
 武石 一幸
 金井 隆志
 中澤 和彦
 武石 一幸
 中川 明

山林組合 田中 忠男
 組合長 丸山 正幸
 副組合長 田中 利典
 評議委員 小坂井 晃
 田中 利典
 中澤 正利
 田中 和穂
 柳沢 進
 上条 隆男
 中澤 俊一
 山岸 丈貢

安協城下支会役員 田中 文章
 塩崎 正幸
 鈴木 由美子

第六分団 中沢 悟朗
 班長 西澤 安隆
 班員 砥石 剛志
 中澤 政彦
 佐生 惇
 竹田 慎

公民館活動について

公民館長 竹田 貴一



日増しに暖かさを覚え、春
めいて参りました。

伝統ある中之条公民館長の
任命を受け、身の引き締まる
思いでいっぱいでございます。
本年は、平成最後の年とも
なり、また、新しい元号での
スタートの年ともなります。
新しい四役さん、運営委員の
方々と公民館活動を進めて参
りますのでよろしくお願いい
たします。しばらくの間公民
館活動から離れていましたが、
皆さんと共に活動を展開して
いこうと思います。

自治会世帯も千百を超える
大所帯となり、自治会員と公
民館の結びつきが大変難しく
なってきたと感じています。
そうした中で、若い人たちが
公民館活動に参加してくださ
る方も増え、頼もしく思いま

す。一年間、御協力、御支援
をよろしくお願い申し上げます。

本年度行事予定

◆体育活動

区民レクリエーション

ペタンク大会 (9月)

区民球技大会 (6月)

ソフトボール

ビーチバレーボール

城南公民館

ペタンク大会 (5月)

ジュニア・スポーツ
交流会 (6月)

運動会 (10月)

◆文化活動

道祖神祭り

(育成会 P.T.A.)

上田わっしょい (7月)

ふるさと夏祭り (8月)

しいのみ園合同文化祭

(10月)

城南地区文化祭 (11月)

中之条公民館

各部活動報告会 (11月)

◆社会教育活動

人権講座 (六月)

青少年健全育成懇談会 (6月)

人権同和教育懇談会 (10月)

平成三十一年度役員及び運営
委員紹介 (敬称略)

館長 竹田 貴一

副館長 吉原 弘雅

主事 羽田 幸彦

会計 高木 禎久

青少年育成推進指導員
新村 光弘

自治委員

第一ブロック 足立 敏男

第二ブロック 矢島 敏

第三ブロック 櫻井 要人

第四ブロック 平塚 直也

第五ブロック 湯本 昭夫

第六ブロック 田中 良和

第七ブロック 藤井 秀樹

第八ブロック 吉越 敏文

第九ブロック 葉山 敦史

第十ブロック 佐久間信次

第十一ブロック 中澤 孝

第十二ブロック 根木 賢治

第十三ブロック 村田 豊

第十四ブロック 小宮山敏晴

第十五ブロック 柄沢今朝則

第十六ブロック 町田佳代子

*以上、十六人のメンバーで
三十一年度より二人体制と
なりました。

青少年健全育成会長

井沢 信子

P.T.A 中学校支部長 小島香世子

P.T.A 小学校支部長 高橋 美都

ふれあい協議会長 田中 康子

◆クラブ長

ソフトボールクラブ 立岩 和夫

花と緑の会 西澤 和也

囲碁クラブ 中沢 守人

カラオケクラブ 田中 忠男

も〜いい会 西沢 一江

フラ・アロハ 山岸 久子

中之条バックアップクラブ 塚田 吉和

大正琴クラブ 宮下ふさえ

各クラブでは、新入会員を
募集しております。お申し込
みは各クラブ長までお願いい
たします。

道祖神祭りの様子

一月二十六日に行われた道
祖神祭りの様子を紹介します。
夕方より、中之条の全八か
所の各道祖神に子供たちと保
護者のみなさんが集まり、寒
い中お参りに来る方々のお接
待をし、甘茶や護符のお菓子
を配りました。
「今年一年間、健康で過ごせ
ますように」

自治会が
PTA役員に
道祖神・道
部・新道部
集合してお参り



道祖神行列を
つくるお参りの人々



お参り
柳堂部道祖神
の方を歓迎



宮川神社より

総代 中谷 荘司

中之条自治会の皆様、氏子の皆様、日頃より宮川神社の諸行事にご理解とご協力を頂き心より御礼申し上げます。

さて、平成二十九年十月二十三日未明に襲来した台風二十一号により、宮川神社もケヤキ・エンジの太木が倒壊して本殿の屋根、旗竿置き場等大きな被害を受けましたが、氏子、宮係の皆様のご協力により、昨年度中に元通りに復旧ができて完成できました。

又、上部の危険な枝も大胆に伐採できました。

これも西澤前総代のもと、大勢の皆様のご協力により終了致しました。大変感謝申し上げます。

又、復旧作業に伴う資金については、皆様のご理解とご協力を賜り、ご寄付をいただきました皆様誠にありがとうございます。

宮川神社の現状は氏子の数も年々減り、そのほとんどが高齢化もあり存続が難しい状況になりつつあります。

地域の文化遺産として私も氏子も、維持保存に努め次の世代に託していくのが義務かと思えます。

自治会の皆様には氏子会に

入会され、宮川神社の存続に力をお貸し頂きます様お願いを申し上げます。

又、入会される方が有りましたら、地区の宮係まで連絡くださいますようお願いいたします。

一月十三日には大勢の氏子の皆さんの協力により、今年も社前の太木に立派な神繩も飾り付ける事が出来ました。

昨年十一月十七日に西澤前総代に寄贈して頂いた、しだれ桜の花見を楽しみに、春を待ちます。

宮川神社年間行事予定

- 一月一日 初詣
- 一月五日 定期総会
- 一月十三日 神願の綱燃
- 二月九日 初午祭
- 三月十七日 新入学児童安全祈願祭

- 四月六日～七日 春祭り
- 十月五日～六日 秋祭り
- 十二月十五日 大祓い
- 十二月三十一日 二年詣で

平成三十一年度宮係(敬称略)

- 総代(下組) 中谷荘司
- 副総代(宮方) 中澤保夫
- 会計(六工東) 西澤康彦
- 齋田係(上組) 丸山修生
- 研修係(柳堂) 柳沢進
- 会計係顧問(新道) 武井孝夫
- 齋田係顧問(六工南) 塩崎正幸

「中之条誌」関係資料の保存と活用のお願い

編集委員長 中沢賢

一昨年十一月、関係皆様の長年月にわたるご協力により宿願の「中之条誌」を発刊することができました。

郷土史の専門家のいない地域の仲間で作成した著作でしたが、郷土史の権威を始め、多方面の方々から温かい評価を頂き、委員一同安堵している次第です。

今後、各方面の要望に応じ、中之条誌に関連した講演会等を通し、得られた知識を皆様に報告して行くつもりでおります。関係諸団体の御協力をお願いいたします。

昨年は「中之条誌」作成に利用した膨大な資料を分類整理し、年末に自治会に返却・寄贈をいたしました。

文書資料の中には、江戸時代中之条の農地利用状況を示す貫名寄帳(写)、時代の青年の思潮を写す青年会機関紙「千曲藻」(明治三十五年、昭和二十五年)を始め、中之条村水害関連地図、公会堂新築記録、上田飛行場建設工事資料、応召現役兵士名簿、婦人会記録簿、土地碑文問題対策委員会綴(写)、精穀所記録等多方面の資料が含まれています。参考図書・綴りの

中には、「百号発行記念千曲藻」「資料に見る江戸時代の城南地区」など基本的に重要な資料のほか、「長野県青年団発達史」、「上田の消防」、新聞ファイル「月刊城下」など今では得難い貴重な書籍が含まれています。

おくやみ

第一六六号掲載以降、平成三十年十二月にお亡くなりになりました。

第三ブロック 十二月 吉田しずこさん 一〇三歳

第八ブロック 十二月 寺島 智志さん 六十歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。(合掌)

平成三十年十二月末日現在のなお、先の第一六六号掲載の誤りがありましたので、左記のとおり訂正と共にお詫び申し上げます。

第八ブロック

松澤 嘉光さん

松澤 嘉光さん

松澤 寿光さん

編集後記



二〇一九年は平成最後の年であり、新たな元号の始まりの年であります。また、今年の十二支、亥は、十二支の最後です。植物の成長としては、葉っぱも花も散ってしまい、種に生命を引き継いだ状態が、「亥」です。十二支には、それぞれに季節が割り当てられています。亥の季節は冬です。春の芽吹きまで、じっと固い種の中でエネルギーを内にこめておる。まさにそうしたイメージが亥年の持つ意味だそう。内なる充実を、次、次のステージの準備をする年ということですね。

二〇一九年はインプットをいつも以上に意識して、東京オリンピックの年でもある二〇二〇年の新たな展開につなげられるといいですね。

さて、今年も自治会役員が新たな顔ぶれでスタートを切りました。この節目の年がよい良い年になりますように、皆様のご指導、ご協力を賜りながら一年間努めて参りますので、よろしくお願ひいたします。

編集委員

- 土屋 公彦 竹田 透
- 田中 正一 飯嶋 昭博
- 北澤 勇太 金野 史華
- 須崎 一弘